学校番号	1009

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	鑑賞研究(書道)	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	楷書がうまくなる本　（二玄社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰや書写学習の経験を生かし、書の古典や名筆を鑑賞研究することにより、その時代、風土、筆者などを理解し、その表現方法や形式について理解を深めましょう。
・反復練習をすることにより書写力が向上しや鑑賞力も広げることができ将来にわたって書を愛好することができることを目指しましょう。

2　学習の到達目標

・書の古典や名筆を時代、風土、筆者を理解しその表現方法や表現形式について理解を深めましょう。
・書の歴史を深く探求することで、書の良さや美しさを感受し、併せて表現力・鑑賞力を高めましょう。
・自らの学習方法をの変容をふり返り、主体的に取り組みましょう。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式､書の表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めている。 ・書の伝統に基づき､作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け、表している。	・書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	・書の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	オリエンテーション 書の歴史	年間計画、 楷書と行書 書道史概論 楷書の特徴	a:書き方の基本や知識が理解できている。 b:楷書行書について深く理解できている。 c:主体的に学ぶことができている。	プリント	成果物	取組 練習シート
	鑑賞と表現 表現力を高める①	実技基礎① 実技基礎② 行書の特徴 行書の実技①②	a:楷書行書の基本的な書き方ができる b:表現力豊かな書き方ができる。 c:繰り返し主体的に学ぶことができる。	プリント	成果物	取組 練習シート
2学期	表現力を高める② 鑑賞研究①	蘭亭序の鑑賞と実習① 鑑賞研究レポート作成	a:なめらかな行書らしい書き方ができる。 b:表現力豊かな行書の書き方できる。 c:的確にテーマを設定し意欲的な取組ができる。	プリント	成果物	取組 練習シート
	表現力を高める③ 鑑賞研究②	蘭亭序の鑑賞と実習② 鑑賞研究レポート作成(続き) プレゼン 古典と作家①	a:特徴を捉えた行書の書き方ができる。 b:高度な表現力で蘭亭序を書くことができる。 c:技法の向上と、理解の深まりを期した粘り強い取組ができている。	プリント	成果物	取組 練習シート
3学期	鑑賞研究③	古典と作家②	a:他者の発表を聞くことができる。 b:発表を聞き、発問したり討論ができる。 c:深い学びを目指し、主体的な取組を継続することができる。	プリント	成果物	取組 練習シート
	ふり返り	1年間をふり返る	a:１年間の取組をふり返る。 b:鑑賞と表現の両面よりふり返りができている。 c:主体的な取組ができているか。	プリント	成果物	取組 練習シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度